

令和6年度住之江区運営方針(案)について 【育む部会】



経営課題1 【子どもたちが輝くまちづくり】

めざす成果及び戦略

- | | | | |
|-----|--------------------|-------|---|
| 1-1 | 【子どもたちが笑顔で育つ環境の実現】 | | 4 |
| 1-2 | 【子どもたちの「生き抜く力」の育成】 | | 8 |



1-1 子どもたちが笑顔で育つ環境の実現

将来像 すべての子どもが誰一人取りこぼされることなく
必要な支援を受けられる状態

課題

こどもサポートネットの充実、子育て世帯への切れ目のない見守り環境の整備

P4



▲ この将来像に向けて2つの取組を進めています

【具体的取組1-1-1】 支援が必要な児童、生徒への取組

取組

＜課 題＞児童や保護者への支援について、保護者にサポートやサービスの提案を行うが、同意を得られず、利用につながらないケースがある。
引き続き、民間資源やサービス等つなぎ先の充実と多様なサポートが必要。
＜方向性＞学校等関係機関との連携により、支援を要する児童等が取りこぼされることのないよう発見に努め、児童や保護者のニーズを把握し、
引き続きNPO法人等の関係機関との連携を実施。

P5

【具体的取組1-1-2】 全就学前児童への切れ目のない見守り環境の整備

取組

＜課 題＞子育てに関する情報が入手しやすくなる、より効果的な手法の検討が必要。
子育て情報を発信するとともに、誰もが相談できるよう取組の推進が必要。
＜方向性＞子育て情報をホームページやSNSを通じて、引き続き継続的に発信するとともに、子育てに関する困りごとや悩みについて、気軽に相談できる
よう子育て応援イベントなどの多様な機会を捉え、子育て世帯に情報が届くよう効果的な情報発信を実施。

P6

1-2 「生き抜く力」の育成

将来像 子どもたちが「生き抜く力」を身につけ、自分らしい
未来を切り拓けるよう学ぶことができている状態

課題

学習意欲の向上に向け、学校や関係機関等との更なる連携

P8

▲ この将来像に向けて2つの取組を進めています

【具体的取組1-2-1】 児童、生徒の学力向上に向けた取組

取組

＜課 題＞基礎学力アップ事業について、令和5年度より新たに小学校でも実施しており、参加者数の増加に向けさらなる周知が必要。
＜方向性＞参加者数の増加につながるような効果的な周知方法等を検討し、さらなる学校との連携強化を実施。

P9



【具体的取組1-2-2】 チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

取組

＜課 題＞チャレンジ精神を育む講座への参加者数の増加に向け、小中学生にとって魅力あるプログラムの実施が必要。
＜方向性＞施策目的を実現するにあたり、より効果的な講座となるよう検討。

P11

令和6年度 住之江区運営方針(案)

区の目標(何をめざすのか)

- 子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域など、周りの人々と幸せに暮らすことのできるまちをめざす。
- 住之江区の名前の由来のとおり、すみよい区、すなわち“e-SUMINOe”を「めざす将来像」とする。

区の使命(どのような役割を担うのか)

- 地域と共に進めるまちづくり
 - ・区民意見の反映 ・地域活動協議会、NPO、企業等の交流促進 ・若い世代との協働
- ICTを活用した情報発信の充実
 - ・分かりやすい広報 ・多様な手法を活用した情報発信

令和6年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- より安心して子育てができ、未来を担う子どもたちが夢と希望を持って学ぶことができる環境づくり
- すべての人々が住之江区に愛着をもち、自分らしく暮らせるまちづくり
- 自助、近助、共助、公助による備えのできた防災力の高い、安心して暮らせるまちづくり

経営課題1 子どもたちが輝くまちづくり

【主なSDGsゴール】



めざすべき将来像(最終的なめざす状態)〈概ね10～20年間を念頭に設定〉

未来の担い手であるすべての子どもが、家庭や地域で愛されながら、個性豊かに、たくましく育っていくよう、区民がより安心して子育てができ、子どもたちが夢と希望を持って学ぶことのできる環境の実現をめざす。

課

題

【子どもが笑顔で育つ環境の実現に向けて】

- 本人や家庭への支援が必要な児童、生徒に対し、こどもサポートネット事業の充実など、社会全体で支える仕組みを強化するとともに、周囲の目が行き届きにくい就学前の子育て世帯に対しては、切れ目のない相談、サポートが可能となるよう、見守り環境の整備を進める必要がある。
- 子育てに関する様々な支援や相談窓口、交流の場の機能充実を図るとともに、これらに関する情報が、直接子育て世帯に分かりやすく、効果的に伝わるよう関係機関との連携やすみのえ情報局やSNS等の活用など、情報にアクセスしやすい方法を検討する必要がある。

【子どもたちの「生き抜く力」の育成に向けて】

- 放課後等を活用した学習の場の提供や学習意欲の向上、学習習慣を身に付けるための支援など、児童、生徒の学力向上に向けた取組を充実する必要がある。
- 子どもたちが自分で未来を切り開いていけるよう、将来に向かって自ら挑戦する精神や課題を解決する力を身につけたり、学習目的を見つけたりすることができる機会を提供していく必要がある。

経営課題1 子どもたちが輝くまちづくり

【めざす成果及び戦略1－1】

子どもたちが笑顔で育つ環境の実現

【主なSDGsゴール】



めざす状態

【令和3～7年度の5年間】

- 区役所、学校等各関係機関と地域や民間の区内のこども支援に取り組む様々な主体との連携協働のもとで、さまざまな子育て支援や相談に関する活動が展開されることで、未来の担い手であるすべての子どもが、誰一人取りこぼされることなく、支援が必要な場合に必要な支援を受けられる状態。

戦略(中期的な取組の方向性)

指 標

- 妊娠・出産期、乳幼児期、学齢期、青少年期の各ステージに応じて切れ目なく子育てをサポートするとともに、課題を抱える家庭、子どもへの支援などを行う。
- 子育ての悩みを皆で相談しあったり、子育てに関する有益な情報が確実に簡単に入手できる環境の整備を進める。

- 令和7年度末までに、区民アンケートで現在、子育てをしている人(妊娠中を含む)のうち、「住之江区内で子育てについて相談ができる場があることを知っている」と回答する割合60%以上
- 年間を通じて重大虐待事案が発生しない状態の継続

経営課題1 子どもたちが輝くまちづくり

【具体的取組1－1－1】

支援が必要な児童、生徒への取組

方向性	課 題	方向性
計画画	取組内容 ●学校等と連携し、支援が必要な児童を発見するとともに、児童や保護者の状況や悩みを傾聴し、地域による子ども支援の取組や、児童支援に取り組むNPOなど民間の取組を含めた利用可能な支援を提案し、児童や保護者のニーズに合わせて利用に向けたサポートを行う。 前年度までの実績 【5年度】96.3%(令和5年12月末時点) 【4年度】96.3% 【3年度】71.1%	指標 ●こどもサポートネットにおいて、区役所がアウトリーチできたケースのうち、支援につながった割合75%以上 予算案 —

クローズアップ —取組の解説—

■こどもサポートネット

- 学校における気づきを区役所や地域につなぎ、社会全体で支える新しい仕組み

支援が必要な子どもや世帯を学校において発見し、区役所等の適切な支援につなぐ仕組みを構築し、区長のマネジメントにより、社会全体で子どもと子育て世帯を各種施策により総合的に支援する取組です。



経営課題1 子どもたちが輝くまちづくり

【具体的取組1－1－2】

全就学前児童への切れ目のない見守り環境の整備

方向性

課 題

- 子育てに関する情報が入手しやすくなる、より効果的な手法を検討する必要がある。
- 子育て情報を発信するとともに、誰もが相談できるよう取組を進める必要がある。

方向性

- 子育て情報をホームページやSNSを通じて、引き続き継続的に発信するとともに、子育てに関する困りごとや悩みについて、気軽に相談できるよう子育て応援イベントなどの多様な機会を捉え、子育て世帯に情報が届くよう効果的に情報を発信する。

計画

取組内容

- 乳幼児健診や、地域担当保健師・子育て支援室等による相談対応、保育所(園)・幼稚園等との連携、4歳児を対象とした訪問等を通じて、妊娠期から就学に至るまでの間、切れ目なく子どもの状況を把握するとともに必要な支援を行う。
- 特に2歳児を養育する保護者にハガキを送付し、子育てに関する困りごとで相談・連絡があった保護者に対して家庭訪問を行うなど、個々に応じた必要な支援につなげる。また、「手続きケアプラン」を母子健康手帳交付時に配布し、妊娠期から就学前までに最低限必要な手続きや相談先の情報を時系列にわかるように支援を行う。
- 子ども・子育てプラザをはじめ区内の子育てに関わる各種機関と連携し、子育てマップ(年1回)や子育て情報紙「わいわい」(年12回)を発行するとともに、子育て層がアクセスしやすいよう、HPやSNS、デジタルマップなどICTを用いて、子育てに関する有益かつタイムリーな情報発信を推進する。
- 区役所子育て支援室において、保育士・保健師・家庭児童相談員による子育て相談を継続する。

指標

- 子育て世帯保護者アンケートで「子育ての相談先を知っている」と回答する割合 40%以上

前年度までの実績

- 【5年度】
- 子育て世帯保護者アンケート 93.1%
- 【4年度】
- 子育て世帯保護者アンケート 91.3%
 - 区民アンケート 42.0%
- 【3年度】
- 子育て世帯保護者アンケート 92.0%
 - 区民アンケート 32.9%

予算案

1,298千円

クローズアップ ―取組の解説―

■ 大阪市出産・子育て応援交付金事業のご案内

大阪市では、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる伴走型支援と、経済的支援として出産・子育て応援給付金の支給を一体的に実施します。

伴走型相談支援 → 面談・アンケートを通じて、必要な支援に繋がります。

経済的支援 → 給付金の支給により、経済的負担の軽減を図ります。



大阪市HP

(出産・子育て応援交付金事業)



経営課題1 子どもたちが輝くまちづくり

【具体的取組1－1－2】

全就学前児童への切れ目のない見守り環境の整備

【部会】

「色々な支援メニューがあるので、パンフレットや二次元コードを見て自分で勉強してください」というのも良いが、フィンランド発祥のネウボラのように、妊娠から出産・子育てを含め一生を通じて、人と人が関わりを持つ仕組みづくりが大事だと思う。

①

ネウボラについては、フィンランドに近い形で、大阪市版ネウボラの取り組みを平成31年度から開始しており、地域の担当保健師を覚えていただき、その保健師を窓口として気軽に相談していただけるよう努めております。



【部会】

出産・子育て応援交付金事業の住之江区でのこの期間の対象者数に対する受給率は高いのか。受給率が低いのであれば、周知方法を根本的に考えないといけないと思う。

①

出産・子育て応援交付金事業の受給率については、令和5年2月から開始したところであり、システム改修が順次行われていますので、今後把握に努めてまいります。また、支給対象となる方には、母子健康手帳交付時や出産後の新生児全戸訪問の面談時に経済的なメリットを紹介して、申請書を手渡しで交付しています。



【全体会】

子どもが熱を出したときなど非常に困るので、働くお母さんのためにも病児保育を充実してほしい。また、高齢者や仕事を引退された方が子どもを預かるなど、生きがいづくりにもつながる、また、子育て世代がすごく助かるようにしていただけたらと思う。

①

区内には病児保育施設がなく、近隣区の施設を利用されている現状があることから、毎年、病児保育施設受託事業者の公募を行っています。引き続き、大阪市において病児保育事業を担当しているこども青少年局と連携して取り組んでまいります。

また、大阪市では「大阪市ファミリー・サポート・センター事業」を実施しており、「子育てを応援してほしい人」と「子育てを応援したい人」が互いに子育てを支えあう仕組みがあります。関係機関とも連携し、引き続き、情報発信にも取り組んでまいります。

※分類

①既実施

②当該年度において対応予定

③次年度運営方針に反映または次年度に対応予定

④今後引き続き検討

⑤対応困難または対応不可

⑥その他

経営課題1 子どもたちが輝くまちづくり

【めざす成果及び戦略1－2】

子どもたちの「生き抜く力」の育成

【主なSDGsゴール】



めざす状態

【令和3～7年度の5年間】

- 社会が多様化する中で、子どもたちが「生き抜く力」を身につけ、自分らしい未来を切り拓けるよう学ぶことができる状態。

戦略(中期的な取組の方向性)

指 標

- 地域や民間との連携のもと、誰もが安心して勉強ができる環境の充実を図り、学習を楽しむ体験をすることで、学習意欲が向上するよう促す。
- 知識だけでなく、学ぶ意欲や、課題を見つけ解決していく力を養い、将来の夢や目標に向かってチャレンジする気持ちとやり抜く力を育む。

- 令和7年度末までに、全国学力・学習状況調査等のアンケート結果における区内中学生への「将来の夢や目標」に関する質問に対する肯定的な回答の割合 70%以上

経営課題1 子どもたちが輝くまちづくり

【具体的取組1－2－1】

児童、生徒の学力向上に向けた取組

方向性

課 題

- 基礎学力アップ事業について、令和5年度より新たに小学校でも実施しており、参加者数の増加に向けさらなる周知の必要がある。

方向性

- 参加者数の増加につながるような効果的な周知方法等を検討し、さらなる学校との連携強化に努める。

計画

取組内容

- 放課後の学校施設を利用し、大阪市習い事・塾代助成事業を活用した民間の塾事業者との連携による課外授業(基礎学力アップ事業)を週2回程度行う。加賀屋塾(加賀屋中学校)、南港塾(南港南中学校)、真住塾(真住中学校)、住一塾(住吉第一中学校)、安立塾(安立小学校)、学びひろば住吉川(住吉川小学校)、住之江塾(住之江小学校)、ひら子塾(平林小学校)、新北島塾(新北島小学校)、みなみ塾(南港みなみ小学校)において実施する。
- こどもサポートネット事業の対象となる児童などに、学校やスクールソーシャルワーカー、福祉関係者等と連携し、それぞれの理解度や特性に合わせた少人数体制での学習支援を小学校施設で行う。

指標

- 対象児童・生徒に対するアンケート調査において、「この事業に参加してよかった」という問いに対し、肯定的な回答の割合 70%以上

前年度までの実績

- 【5年度】(令和5年12月末時点)
- 加賀屋塾・南港塾・真住塾・住一塾・安立塾・学びひろば住吉川・住之江塾・ひら子塾・新北島塾・みなみ塾を開設し、学習環境の場を設定 年間645回実施
 - 小学校5校にて学習支援を実施
- 【4年度】
- 加賀屋塾・南港塾・真住塾を開設し、学習環境の場を設定。年間275回
 - 小学校6校、中学校1校にて、学習支援を実施
- 【3年度】
- 加賀屋塾・南港塾・真住塾を開設し、学習環境の場を設定 年間272回実施
 - 小学校4校、中学生用拠点1拠点にて学習支援を実施

予算案

4,929千円

クローズアップ ―取組の解説―

■民間団体や企業との連携による学習支援・学習指導を実施しています

- ・区内小学5・6年生と中学生を対象とした「基礎学力アップ事業」は事業者と区が協定を締結し、大阪市習い事・塾代助成事業を活用して受講できる塾を区内小学校6か所、中学校4か所で運営しています。
- ・区内小学生を対象とした「放課後学習チャレンジ教室事業」は、事業者と区や学校が協力し、児童の状況に合せた少人数制の学習支援を行っています。

基礎学力アップ事業の様子



委員からのご意見

分類

対応方針

【部会】

●ICTの活用によるオンライン授業があると聞いている。ただ、学校によっては不登校の子がオンライン授業を受けても出席扱いにはならないと聞いたので出席扱いにして欲しい。
また、ICTの活用には先生のスキルアップが必要だが先生へのサポートも必要だと思う。

⑥

オンライン授業の出席の取り扱いについて、「不登校児童生徒が民間施設及び学校外で相談・指導を受けている場合の指導要録上の出席扱いに関するガイドライン」に沿って運用していると教育委員会に確認いたしました。また、ICTの活用については、教員に対して研修や、ICT支援員がサポートを行っています。



※分類

①既実施

②当該年度において対応予定

③次年度運営方針に反映または次年度に対応予定

④今後引き続き検討

⑤対応困難または対応不可

⑥その他

経営課題1 子どもたちが輝くまちづくり

【具体的取組1-2-2】

チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

方向性	課 題	方向性
	●チャレンジ精神を育む講座への参加者数の増加に向け、小中学生にとって魅力あるプログラムにする必要がある。	●施策目的を実現するにあたり、より効果的な講座となるよう検討する。
計画	取組内容	指標
	●キャリア教育の一環として、小中学生を対象に、将来の夢や目標に向かってチャレンジする気持ちを育み、思考力・課題解決力・判断力・表現力などの資質・能力の育成をめざすプログラミング教育を題材としたワークショップ等を開催する。	●ワークショップ等に参加する児童・生徒対象のアンケートにおいて、ワークショップの理解度について肯定的な回答の割合 70%以上
画	前年度までの実績	予算案
	【5年度】キャリア教育の一環としてプログラムを実施 8～11月講座を4回実施、延べ12名参加 【4年度】キャリア教育の一環として、プログラムを実施 ・夏開催：7～9月5回連続講座を実施 延べ19名参加 ・秋開催：10～11月単発講座を7回実施 延べ44名参加	—

クローズアップ ―取組の解説―

■キャリア教育

- 「キャリア教育」とは、児童生徒一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育です。
- 住之江区では、子どもたちがこれからの社会を生き抜くために必要なチャレンジ精神、創造性、探究心等を育むための体験を得る機会を創出していきたいと考えています。



キャリア教育事業の様子

経営課題1 子どもたちが輝くまちづくり

【具体的取組1-2-2】

チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

委員からのご意見

分類

対応方針

【部会】

●すみのえ未来塾は大人の自分が見ると参加したいと思う内容だが、参加者数が少ないので周知方法について工夫が必要だと思う。

学校でのチラシ配布や、広報紙、ホームページ、SNS等での周知に加え、基礎学力アップ事業において事業者から周知を行いました。引き続き参加者の増加に向け検討してまいります。

③



※分類 ①既実施 ②当該年度において対応予定 ③次年度運営方針に反映または次年度に対応予定
④今後引き続き検討 ⑤対応困難または対応不可 ⑥その他

「育む部会」関連 その他のご意見

委員からのご意見

分類

対応方針

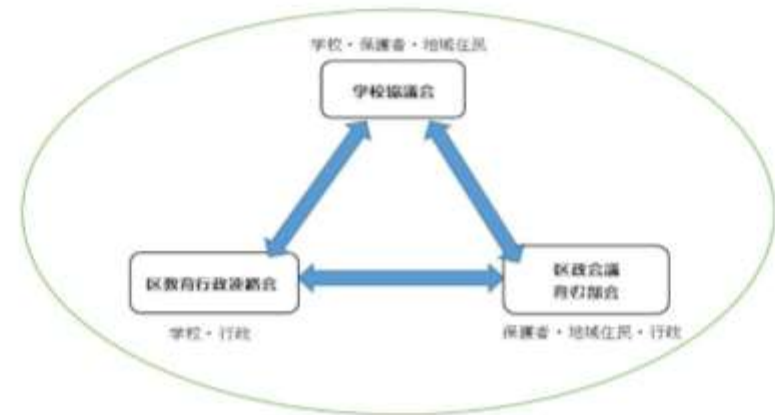
【全体会】

●各小中学校の先生の代表との議論の場を持たせてほしい。学校ごとに実施する学校協議会だけでなく、住之江区全体で議論をすればより活性化すると思う。

区役所と区内小中学校長との間の連絡調整、意見・情報交換をする場として区教育行政連絡会があり、ご意見につきましては学校とも共有し、より良い教育環境に向けて取り組んでまいります。

⑥

住之江区の教育行政を総合的に推進するための仕組み



※分類

①既実施

④今後引き続き検討

②当該年度において対応予定

⑤対応困難または対応不可

③次年度運営方針に反映または次年度に対応予定

⑥その他